

ふくし ふれあい

CONTACT WITH WELFARE

初夏
2019年
6月15日
No.74

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 友田孝行 編集者 末長 孝 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 〒862-0963 熊本市南区出仲間8丁目9-1 TEL096-377-6029 http://kumamoto.rofuku.net/
FAX096-377-6030

第8回 (第53回) 通常総会

2030年を見据えた新たなビジョンを策定

友田理事長「支え合い、助け合い、共に生きる地域再生を」

熊本県労福協は5月23日、熊本市内のホテルニュースカイで第8回（第53回）となる2019年度の通常総会を開き、向こう1年間の事業計画や予算、役員など決めて新年度をスタートさせました。

総会は労金熊本の川崎副本部長と、菊池郡市労福協の小材会長を議長に選出した後、友田理事長があいさつに立ちました。



▲友田理事長

「労福協では重点課題の一つとして『格差・貧困の是正』に取り組んでいます。とりわけ奨学金制度の改善では、連合をはじめ、多くの皆さんとの連携で、2017年度から給付型奨学金制度がスタートしました。さらに来春に向けて、給付制度の拡充や、低所得世帯対象者への支援制度などの改善が図られる予定です。

一連の動きは、私たちの運動の成果であり、引き続き各団体と連携し、山積する諸課題に取り組んでいきます。

また今年は、中央労福協が結成70周年の節目を迎えます。

2019年度は「2020年ビジョン」の最終年度となり、これまでの10年間の取り組みの検証・総括を行い、2030年度を見据えた新たなビジョンが策定されます。



▲議長を務めた(左から)労金熊本の川崎、菊池郡市労福協の小材両氏

貧困や社会的排除を許さず、支え合い、助け合い、共に生きる地域が再生され、平和で安心して働き暮らせる社会を構築していかなければなりません。県労福協は仲間と共に、包摂的（一定の範囲の中に包みこむこと）で持続可能な社会の実現に向けた運動を推進していきましょう」。

続いて来賓あいさつとして蒲島県知事の代理として、労働雇用創生課の岡村課長と、大西熊本市長の代理として、経済政策課の伊藤課長が祝辞を代読しました。

2018年度事業・決算報告を承認

総会は成立を宣言した後、末長専務が2018年度の事業と決算報告を、青木監事が監査報告を行った後、質疑応答に入りました。

まずユニオントラベルの猪塚専務が「上半期の台風接近による団体旅行のキャンセルが重なったこと、熊本地震による特需が減ったこと、営業職員の1名退職によるルートセールスが不十分であっ



▲熊本県労働雇用創生課の岡村課長



▲熊本市経済政策課の伊藤課長

▶県南地区労福協の白石代議員



▶荒尾玉名・鹿本地区労福協の勢田代議員



たことから赤字決算となった。2019年度は精いっぱい努力していく」と報告、また県南地区労福協の白石代議員は「奨学金借換ローンの活用促進に向けPRなど、他の労福

協での成果や情報を知りたい」と要請、荒玉・鹿本地区労福協の勢田代議員は「エリア内の3市5町の首長と懇談会を毎年開いている。他地区でも懇談会や自治体要請行動ができると思うので、執行部として指導を」と意見を述べました。

事業・決算報告は満場一致承認され、また2019年度の事業計画案と予算案などはすべて承認された後、役員改選がおこなわれ、一部理事と監事の交代を承認し、2019年度の役員が承認されました。

（2ページに役員一覧表掲載）

2019年度 事業計画

生活諸課題を抱えたすべての人を「共助の輪」へ 各地区労福協は次世代育成に取り組もう

2019年度の実業計画（県労福協と福祉事業団体）については、末長専務が提案し、満場一致で承認されました。（以下要約）



主要（重点）課題と継続的な取り組み

1重点課題について

1 労組と福祉事業団体は、生活諸課題を抱えた人々すべてを「共助の輪」への参加を促進するため、各級機関のリーダーが福祉事業団体の設立理念を共有し、利用促進・拡大の成果によって、より利用しやすい商品開発と質の高いサービスを提供するという循環をめざして、労働者・生活者全体の福祉向上につなげる運動を展開します。

2 奨学金制度と「格差・貧困の是正」については、全国の労福協で展開する「社会連帯を深める運動と政策の実現」にもつづき、「奨学金制度改善」「生活困窮者自立支援」「多重債務対策」の取り組みについて調査・研究を進めます。奨学金制度改善はこれまでの活動により法律の一部改正が施行されましたが、まだ不十分な制度であり、引き続き中央労福協、南部労福協と連携しながら、制度改善に取り組めます。

3 低賃金労働者や低年金の高齢者が増えている中、第1のセーフティネットだけでなく、第2のセーフティネットの充実・強化のために、引き続き各自治体

での事業実態を見ながら、自治体との意見交換、政策要求を求めます。

4 多重債務対策は熊本県多重債務者対策協議会の構成メンバーとして、労金やライフサポートセンターなどと連携して取り組みます。

5 労働者福祉運動を担う人材の育成や、教育活動の取り組みは、労福協の歴史と理念を若い世代に浸透させるため、各産別、単組の運動方針などに盛り込み、各構成組織で次世代を担う人材育成のための教育活動を推進します。



2継続的な取り組みについて

1 勤労者の暮らしにかかる総合支援事業（ライフサポートセンター）の体制（人材・財政）強化を図るとともに、中央労福協主催の研修会に参加します。さらに福祉事業団体との連携や、サポート事業の充実に取り組みます。

またライフサポートセンターくまもとの認知度アップに向けて、情報媒体（ポスター、チラシ、広告など）を活用し、幅広い周知を図ります。

2 各地区労福協は定期的に幹事会の開催、各福祉事業団体の活動推進への参

加、自治体要請行動を各連合地域協議会と連帯して取り組みます。

3 各地区労福協では特に次世代を担う会員を対象に、労働者福祉運動の『歴史・理念』などのセミナーの開催を要請します。県労福協は講師派遣などを含め支援を行います。

4 連合や県高齢者退職者団体連合などとの連携をより一層強化します。

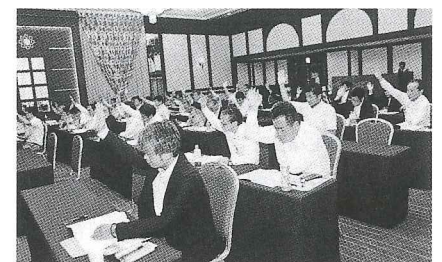
5 中央労福協主催の「全国研究集会」、労働者福祉南部ブロック協議会主催の研究集会（11月21～22日・宮崎市開催予定）にも積極的に取り組みます。

6 次世代を担うリーダー育成を目的に、「熊本県労福協次世代リーダー研修交流会」を開催します。

7 環境保護、食の環境課題（阿蘇草原の保全や、フードバンク活動など）について、他団体との連携を進めます。

8 熊本県自然災害遺児救援会の財政基盤の強化のための「チャリティーゴルフコンペ」を開催します。

9 福祉事業団体連絡会議を適宜開催し、業務推進の進捗状況、課題、情報交換を行い、問題点の共有を図ります。



▲事業計画、予算は共に満場一致で承認された

2019年度 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会理事会役員

役職名	氏 名	選出団体	役職名	氏 名	選出団体
理事長	友 田 孝 行	電機連合	理 事	園 田 海 舟	電力総連
副理事長	上 田 淳	福祉事業団体 労金熊本	理 事	熊 谷 行 雄	自動車総連
副理事長	田 川 仁	福祉事業団体 こくみん共済	理 事	山 野 雄 一 朗	運輸労連
副理事長	倉 岡 興 平	JP 労組	理 事	峯 潔	自治労
専務理事	末 長 孝	JR 労組	理 事	中 谷 真 弥	電機連合
理 事	梶 田 秀 治	福祉事業団体 ユニオントラベル	監 事	児 玉 智 勝	UA センセン
理 事	佐 々 木 義 博	自治労	監 事	青 木 栄	熊本教育ユニオン
理 事	矢 野 良 輔	交通労連	監 事	川 崎 竜 一	福祉事業団体 労金熊本
理 事	山 本 寛	情報労連			

2019年度 全国研究集会

主催
労働者福祉
中央協議会

支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を
～労働者福祉運動で共助の輪を地域に広げよう～

全国から380人余が熊本に結集

中央労福協主催による「2019年度全国研究集会」が、6月7～8日、熊本市で開かれ全国から380人余が出席、1日目は全体交流会が、2日目はホテルメルパルク熊本で研究集会が開かれました。



冒頭あいさつに立った中央労福協の神津里季生会長は、過去1年間の各県労福協の取り組みに感謝を述べながら「中央労福協は本年結成70周年を迎える。この10年間の労働者福祉運動をさらに発展させ、広く勤労者・市民、地域に根ざした活動を展開するため2030年ビジョンの策定に向けて、10年後の社会構造の変化を見据えながら、私たちがめざす社会の実現に向けてどのような労働者福祉運動を進めていくか、私たちに求められる役割は何かなどを議論することを目的に今研究集会を開催する」とあいさつしました。

県知事とくまモンが挨拶



▲蒲島知事と「くまモン」がお礼の言葉を…

続いて熊本県の蒲島知事と人気キャラ「くまモン」が登場し、3年前の熊本地震への支援に感謝を述べながら、知事は「創造的復興を目指す。くまモンも同じ気持ち。くまモンは関連商品も含めて

1500億円を売上げた」と述べ、会場から拍手を浴びました。



▲友田熊本県労協理事長

次に友田熊本県労協理事長が震災支援への謝辞と、研究集会の成功を述べました。

特別講演 自己責任論を越えて、助け合
といえる社会をめざして！

講師 特定非営利活動法人
抱樸 奥田 理事長

奥田さんは北九州市でホームレス支援機構を運営し、共生や生きることの意味を追求する。



▲奥田知志氏

「3年前、相模原の障害者施設で元同園職員が高齢の知的障害者を殺傷した。殺すことが社会のためと犯人は主張した。北九州ではホームレス支援施設住民反対運動が起きた。理由は生産性が低いからだ。生産性とは手段。人がより幸せに生きるため共生社会が必要。経世済民は世を経め民を済うこと。経済の語源はここから生まれている。しかし、手段に過ぎない生産性が目的となり、平和や人の命を守ることが後回しに…」と話しました。

基調講演 2040年に向かう地域と生活保障
～中央労福協70周年に寄せて～

講師 中央大学 法学部
教授 宮本 太郎 氏

「2040年に向かうが日本は3つの不均衡（世代間・地域間・税収と支出）が極大化している。支える側の非力化と困窮の広がり、進学のコストとリスクや、雇用不安定化、非婚・単身化、出生率低

下・現役世代減少が続いている。そして人間のお互い様関係が見えにくくなっている。そこで協同組合や労働組合の出番となる。お互い支え合うという『地域のお互い様関係の発見と推進』が好適だ」「これまでの福祉は保護すること、縦割り行政、はっきりした困難だが、これからの福祉は元気になってもらうこと、包括的支援、早期対応が大事だ。今の日本は教育、就労、社会保障など機能不全に陥っている一方通行型社会。ひきこもりひとつとってもその推定数は100万人を超えている。協同組合は一方通行でなく、だれも安心できる交差点型社会をめざすことだ」と訴えました。



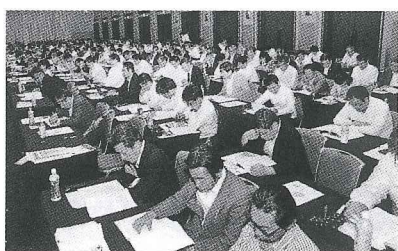
▲宮本太郎氏

午後からは「労福協の理念と2020年ビジョンの検証・見直し」について、中央労福協の花井圭子事務局長が提起した後、パネル討論に移り5人のパネラーと宮本教授、花井事務局長が討論しました。

■午後からは「労福協の理念と2020年ビジョンの検証・見直し」について、中央労福協の花井圭子事務局長が提起した後、パネル討論に移り5人のパネラーと宮本教授、花井事務局長が討論しました。



▲パネル討論でさらに意見交換を



▲会場は380人余の出席者であふれた

全労済熊本は本年60周年を! 6月から愛称「こくみん共済coop」へ

1959年3月3日に設立した熊本県労働者共済生活共同組合（全労済熊本）は本年60周年を迎えました。これもひとえに、共に歩んでいただいた協力団体の諸先輩や、組合員の皆さまをはじめ、多くの方々のご支援の賜物です。

創立記念日には、これまでの感謝を込めた記念講演と祝賀会を開催し、60周年を機に、労働者自主福祉のなかで培ってきた事業と運動をさらに強化・発展させる

とともに、多様な組合員の生活場面にあわせ、協同組合としての役割を再認識しながら、共創で、誰一人取り残さない社会づくりを、全国で展開していくことを報告しました。

労働者自主福祉運動からスタートした活動を核に、さらにその領域を広げ、私たちは「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」を結び、「安心のネットワーク」を広げることとし、2019年



6月から、愛称を「こくみん共済coop」と定め、わかりやすく、社会に発信していきます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

医療法人社団
熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

■診療科目／内科、小児科、リハビリテーション科、居宅介護支援事業

いのちと健康が
なによりも大切にされ
一人ひとりが
かけがえのない
存在として尊重される
そんな医療と社会を
めざしています

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00
午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00
土曜日／1:30～3:00
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は
鍼灸はお休みです。
休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田3441-20 ☎368-6007

ユニオントラベル熊本からあなたへ

今年もやります!

ユニオントラベル熊本 屋上ビア・ビバパーティー

※ 会員様限定企画

2019 9月6日 (金) 開場: 18時00分 開宴: 18時30分

場所: アークホテル熊本城前 屋上

バイキング + 飲み放題
ズワイガニ (血盛り) (セルフサービスになります)

～ドリンクメニュー～
ビール・焼酎・ハイボール
梅酒・ワイン・サワー各種
ソフトドリンク

早いもの勝ち!
定員 100名

大人 参加費 4,500円 (税込)
中高生: 2,500円、小学生: 1,500円、3才から6才: 500円

20時頃開催
スペシャル大抽選会
航空券や宿泊券、クオカードなど
豪華賞品がもりだくさん!
参加された皆様にも何が当たります!

ご注意!

※8月5日(月)9時からFAXでの申込みとさせていただきます。
(9時以前にFAXを送られた場合受付は致しません)
※先着順となりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
※たくさんのお客様にご参加いただく為、1グループ10名様以下とさせていただきます。
※チケットは現金とお引換となります。
※チケットは買取りとし、払い戻しは致しません。予めご了承ください。
※20時からの抽選会の際は、ご本人様が不在の場合は無効とさせていただきます。
(代理の方の受け取りは無効と致します)

編集後記

日頃より、「連帯・共助」を基本に運営する福祉事業団体の利用促進をはじめ、諸活動にご協力頂き感謝申し上げます。本年度も活動方針に基づき、会員の皆さんと連帯して取り組みを進めていきたいと思っています。さて、国内では「事件・事故」「少子高齢化」「格差貧困・孤立」に関わる多くの不安材料を抱えています。これらの改善がなかなか進まない要因として、総体的には問題に対する人々の無関心や連帯感の希薄さの進行があるのではないのでしょうか。労福協は、このような社会の負の進行に抗い、みんなを支え合う安心社会の実現に向け前進していきます。今後の活動にご協力をお願いします。

お問い合わせは



生協
法人

ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022
FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺4丁目1-8-2F 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳